



平成28年3月18日

各位

上場会社名 GMB(株)
 代表者 代表取締役会長 松岡 信夫
 (コード番号 7214)
 問合せ先責任者 専務取締役 金本 現一
 (TEL 0745-44-1911)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月26日に公表した業績予想及び平成27年5月8日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	69,500	900	780	0	0.00
今回修正予想(B)	68,300	400	△100	△1,850	△354.99
増減額(B-A)	△1,200	△500	△880	△1,850	
増減率(%)	△1.7	△55.6	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	64,863	1,599	1,518	364	70.02

修正の理由

売上高につきましては、東南アジアなど海外補修用部品市場における販売が想定した水準に達しなかったこと、韓国・中国など海外の新車用部品市場における需要回復の遅れなどにより前回予想を下回る見込みであります。営業利益につきましては、販売減少の影響とともに、韓国子会社における退職給付債務の増加による人件費の増加、不採算取引の見直しやコスト削減策など対策の遅れなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

さらに、為替変動による為替差損の拡大、本日公表いたしました「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」のとおり、固定資産の減損損失を計上することとなったこと、主に収益悪化が続く拠点における繰延税金資産の取り崩し等の税効果会計の影響による税金費用の増加などにより、経常利益および親会社株式に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を大きく下回り赤字を見込んでおります。

今後は、推進中の各収益対策の強化と海外新拠点の早期黒字化によって安定的な収益を維持できる体制に改善してまいります。同時に新製品の開発と販路拡大に取り組むことで新たな収益源の確保に努めてまいります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月8日発表)	—	—	—	20.00	40.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	20.00
当期実績	—	20.00	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	20.00	—	20.00	40.00

修正の理由

当社の利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当期の親会社株主に帰属する当期純利益が大幅な赤字見通しとなったことなどを総合的に勘案し、配当を見送り、1株につき0円(年間20円)とする案を株主総会にお諮りする方針とし、配当予想を上記のとおり修正させていただきます。

以上